

事業番号	事務事業名	生活支援体制整備事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋	
24194	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者	井手 俊文
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	生活支援コーディネーターの配置について、鏡野町社会福祉協議会と委託契約を交わす。 生活支援コーディネーターの活動や研修受講について必要な支援をする。 委託料の支払いをする。	平成27年の介護保険法改正により実施することになった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア	65歳以上の町民	ア	65歳以上の町民人口	人	見込	4,727	4,689	4,651	4,613	4,670
					実績	4,747	4,757	4,726		
イ		イ			見込					
					実績					
ウ		ウ			見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア	日常生活の支援体制を充実・強化する	ア	生活支援コーディネーターの配置数	人	目標	1	1	2	2	2
					実績	2	2	2		
					達成率	200.0%	200.0%	100.0%		100.0%
イ		イ			目標					
					実績					
					達成率					
ウ		ウ			目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ア	委託契約の締結	ア	委託契約件数	件	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	委託料の支払	イ	支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ		ウ			目標					
					実績					
					達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 24 款 05 項 02 目 06 大事業 中事業			予算上の事業名										事業番号	
	介護保険特別会計(保険事業勘定) 地域支援事業費			包括的支援事業・任意事業費		生活支援体制整備事業費		01 01		生活支援体制整備事業費					24194
1年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 見込	5年度 見込	前年比	決算 (千円)	1年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 見込	5年度 見込	前年比			
国庫支出金	2,996	3,199	3,284	4,553	4,553	85	国庫支出金	2,791	3,189	3,209	4,553	4,553	20		
県支出金	1,307	1,396	1,433	2,277	2,277	37	県支出金	1,218	1,391	1,400	2,277	2,277	9		
町債	0	0	0	0	0		町債	0	0	0	0	0			
その他特財	4,848	5,176	4,528	2,277	2,277	-648	その他特財	4,516	5,160	4,425	2,277	2,277	-735		
一般財源	1,307	1,396	2,218	2,719	2,719	823	一般財源	1,218	1,391	2,168	2,719	2,719	777		
合計	10,459	11,167	11,463	11,826	11,826	296	合計(A)	9,743	11,131	11,202	11,826	11,826	71		

財源名称	国:地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)		従事正職員人数		1	1	1	1	1		
	県:地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)		延べ業務事務時間		12	12	12	12	12		
	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)		人件費計(千円)(B)		42	40	40	41	41		
	最終予算額 11,463 千円		予算執行率 97.7%		トータルコスト(A+B)		9,785	11,171	11,242	11,867	11,867

主な 支出事業内容 (予算)	委託料(物)		11,463 千円		主な 支出事業内容 (決算)	委託料(物)		11,202 千円	

事業番号	24194	事務事業名	生活支援体制整備事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
介護保険法の改正により平成27年度から開始した。5年前と比較し生活圏域を2つに分け、2人体制で活動をおこなった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを2名配置し、必要な研修を受講させ、地域の資源開発の支援をおこなった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援をおこない、地域で見守れる体制づくりをおこなってほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域住民の協力により、高齢者が在宅で安心して生活ができる体制づくりを支援している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 介護保険法第115条の45第2項第5号に規定されている事業であり、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図るものであり、町が行うことが妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 介護保険法に規定されている地域支援事業であり、対象と意図を見直す余地はなく、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 生活支援コーディネーターの資質向上は研修でできていると思われる。地域住民の支援体制をどのようにおこなっていくかが課題。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、廃止することはできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 方法・手段は模索中であり改善の余地はある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業費は最小限のものであり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 社会福祉協議会に委託しているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 全ての高齢者と対象とした生活支援サービスの体制作りであり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	生活支援体制の整備はこれからの取り組んで、方法・手段は模索中であるため、改善余地はある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 生活支援コーディネーターを中心に、必要な生活支援体制を構築する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								